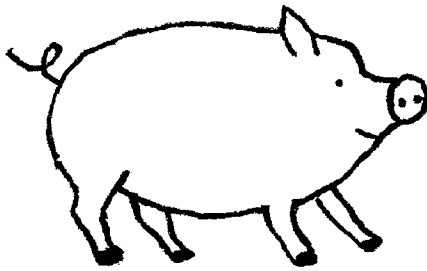


豚のルーツ

「日本人はどこから来たか」「耶馬台国はどこにあったのか」なんてことが分かったところで、別にどうってこともなさそうなんだけれど……万物の霊長・人間さまには大いに気になるらしく、いつの時代にも、平和が続くと、このルーツ探しが繰り返し試みられている。ならば、「われらブタ族も！」というわけで、我々が、この国で、なぜ「ブタ」などと呼ばれるようになったのかをルーツしてみたところ、これがトンと曖昧、でたらめ。

さる語源学者の「これが定説」なるものを聞かされて、唾然としたのである。それによると、ブタは「肥（ふと）る」の「ふ」が「ブ」に、「と」が「タ」に転化、形を変えたもので、この国の祖先たちは、われわれのみてくれの丸々したところだけをとらえて、お手軽に「ブタ」と決めつけたものらしい。

中国では、同じわれわれブタ族に対しても、「豚」という字は、ブタの肉を神に捧げているイメージに基づいているということだから、この国での皮相な認識とは雲泥の差である。



ついでに、この国で、われわれブタ族をタシにして作られた俗語というのが、
てんでいただけない。「豚兎」「豚犬」とか「豚に真珠」などはまだしも、「豚
野郎」「豚箱」となると、まともな辞書には取り上げられていない。そこへゆ
くと中国はさすがに文字の国。われらブタ族を早くから伴侶と認めていた証拠

に「家」の字をみると、ちゃんとわれ
らにしかるべき位置を与えている。

つまり、家とは、豕（ブタ）の上
に屋根（ウ）をかぶせた形で、これ
は、家のルーツがそもそも豚舎にほ
かならなかつたことを物語っている
のである。

日本人のルーツ探しもよいが、われ
らブタ族のルーツにも興味を示してみ
ては！